

実践団体情報

記入日	2020年1月15日（2019年度のチャレンジプラン）
実践団体名	愛媛県立宇和島東高等学校
代表者名	松本 耕太郎
プラン全体のタイトル	「学ぶ」から「教える」「育てる」へ 小さな“防災士”がつなぐ地域の防災
電話番号	0895-22-0261
メールアドレス	Kubochi-ikuya@school.esnet.ed.jp
実践団体の説明	愛媛県南予地方に立地し、創立124年目を迎えた伝統校で、全日制普通科・理数科・商業科、定時制が設置され、スーパーサイエンスハイスクールSSH事業の活動も盛んである。質の高い文武両道をモットーに部活動に励み、文化部・運動部とも多くの部が全国大会で活躍している。
所属メンバー	（代表）校長：松本 耕太郎 （担当）教諭：清家 祥 ， 窪地 育哉
活動地域	愛媛県宇和島市
活動開始時期・結成時期	2019年
過去の活動履歴・受賞歴	特になし

プラン全体の概要	平成30年7月の西日本豪雨で経験した避難所生活・避難所運営をテーマとし、その体験を体系化した高校生の学びを小中学生に伝えた。学びの場を発展させて、『高校生が学ぶだけでなく、小中学生にその学びを広げる』ことに挑戦し、地域全体の防災力向上に努めた。
----------	--

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
5月	第1回8高校合同学習会	第1回8高校合同学習会	連携機関への周知と案内
6月	第2回8高校合同学習会 第3回8高校合同学習会	第2回8高校合同学習会 第3回8高校合同学習会	第1回8高校合同学習会
7月		第2回8高校合同学習会 第3回8高校合同学習会	第2回8高校合同学習会 第3回8高校合同学習会
8月	防災キャンプ		
9月	防災キャンプ	宇和島防災キャンプ 津波サミット参加	
10月	防災キャンプ	宇和島防災フェス 宇和島防災キャンプ	津波サミット参加 宇和島防災フェス参加
11月			宇和島防災キャンプ
12月		宇和島市6校1園合同避難訓練 地震津波対策連絡協議会	
1月		防災士養成講座	宇和島市6校1園合同避難訓練 地震津波対策連絡協議会 防災士養成講座
2月			
3月			

<p>プラン全体の反省点・課題・感想</p>	<p>年間を通じて、計画していたことはすべて実施できた。他の高校や関係機関との日程調整が大変難しく、全ての行事に全ての学校が参加できたわけではない点が残念であるが、多くの学びを、生徒に経験させることができ、率直に嬉しく思う。このプランを通して得られた最も大きなものは地域や他校、団体、関係者との繋がりであると考えている。防災や災害時に限らず、様々な場面で互いに協力しあえるのではないかと思う。関わっていただいた大人からの声掛けや指導が大変ありがたく、高校生に地域を支える人材としての自覚を持たせ、その態度を醸成させることに大きく貢献できたのではないかと考える。</p> <p>一方で、教員負担が増えたことが課題である。教員の異動などで実施できなくなることが考えられるので、継続できるようなシステム作りが急務である。そのためにも本校防災教育の趣旨を理解したうえで指導していただける人材の確保が必須課題である。</p> <p>本校が立地する愛媛県南予地方は、過疎化も進む、いわば“田舎”である。そのような場所にあっても防災をきっかけに町全体を強く、元気にしたいと考えるようになった。宇和島市役所危機管理課や教育委員会の予算執行や、NPO 法人の支援など、多くの方の協力で実施できたことには感謝の思いしかないが、プラン実施の金銭的支援がもう少しあればという思いを強くしている。「学会やフォーラムに行きたくとも経済的理由により断念せざるを得ない」「誰かをお招きしたくとも交通費が捻出できない」「～したくとも遠いので…」というハンデを克服するという意味でも、もう少し、金銭的支援をお願いしたい。そうすることで、高校生の学びの場を地元だけにとどめないで、広げていきたいと強く希望する。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>次年度以降も継続し、防災の意識の高いまちづくりに貢献したい。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	2020年1月15日（2019年度のチャレンジプラン）	
実践団体名	愛媛県立宇和島東高等学校	
実践番号	1	
タイトル	「学ぶ」から「教える」「育てる」へ 小さな“防災士”がつなぐ地域の防災	
実践担当者のお名前	清家 祥 、 窪地 育哉	
実践にかかった金額	50万円未満	
実践の準備にかかった時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題研究 …… 35 時間 ・ 第 1 回 8 高校合同学習会 …… およそ 30 時間 ・ 第 2 回 8 高校合同学習会 …… およそ 30 時間 ・ 第 3 回 8 高校合同学習会 …… およそ 30 時間 ・ 津波サミット参加 …… およそ 20 時間 ・ 防祭－BOUSAI－参加 …… およそ 20 時間 ・ 宇和島防災キャンプ参加 …… およそ 60 時間 ・ 地震津波避難訓練事前協議会参加 …… 3 時間 ・ 6 校 1 園合同避難訓練 …… およそ 30 時間 ・ 防災士養成講座参加 …… 3 時間 	
実践活動を実施した日時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週水曜日 7 時間目 課題研究 35 時間 ・ 2019 年 5 月 21 日（火）第 1 回 8 高校合同学習会 2 時間 ・ 2019 年 6 月 13 日（木）第 2 回 8 高校合同学習会 6 時間 ・ 2019 年 6 月 15 日（土）第 3 回 8 高校合同学習会 3 時間 ・ 2019 年 9 月 10 日（火） 11 日（水） 津波サミット参加 16 時間 ・ 2019 年 9 月 15 日（日） 防祭 －BOUSAI－ 参加 6 時間 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年10月12日(土) 13日(日) 宇和島防災キャンプ参加 33 時間 ・ 2019年11月7日(木) 地震津波避難訓練事前協議会参加 2 時間 ・ 2019年11月18日(月) 6校1園合同避難訓練 2 時間 ・ 2020年1月25日(土) 防災士養成講座参加 3 時間
実践の所要時間	108 時間
実践の運営側で動いた人の人数	およそ35人
防災教育の対象者の属性	小学生(低学年)・小学生(高学年)・中学生・高校生
防災教育の対象者の人数	のべ261人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県宇和島市, 北海道札幌市
実践を行った具体的な場所	愛媛県立宇和島東高等学校 会議室・校史資料館・中庭等 宇和島市立三間中学校体育館・武道場 宇和島市立城南中学校図書室 宇和島市きさいや広場 北海道きたえーる
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	HUGの指導ができる方、避難所運営の経験者 災害食

達成目標	<p>高校生が学習者として終わることなく、学びを発信する場を作り、実践していくことで、主体的・協働的な学びの実践が地域の中で育まれていくことを期待した。「防災」は地域が抱える大きな課題の一つであることから、地域の中での協働的な学びが十分実現可能であると考えた。</p> <p>また、現在宇和島市の防災士資格取得者数は701名で、そのうち高校生以下の資格取得者は60名である。これをもう少し増やしたいと考えた。</p>	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	<p>☆毎週水曜日7時間目 課題研究</p> <p>「総合的な学習の時間RR（リージョナルリサーチ）」において防災に関する課題研究を行っている。事前復興まちづくりに関する研究を行っている班、防災キャンプ運営の準備を中心に活動した班、津波サミットほか学会などで発表することを中心に活動した班の3班10名で活動している。</p> <p>☆5月21日（火） 第1回8高校合同学習会</p> <p>近隣8高校と合同で、避難所運営ゲームHUGを実施した。講師は毛利泰明氏（防災図上訓練指導員）。参加人数53名（うち他校18名）。</p> <p>☆6月13日（木）第2回8高校合同学習会</p> <p>本校文化祭において、災害食の炊き出しを行った。PTA、NPO法人宇和島グランマの協力もあり、ビニール袋を用いた炊飯の実演や災害食の試食、災害時の簡易トイレや段ボールベッドなどの披露、紹介を行った。参加人数80名（うち他校29名）。</p> <p>☆6月15日（土）第3回8高校合同学習会</p> <p>本校において、第1回合同学習会HUGの振り返りを行うとともに、平成30年西日本豪雨災害時に避難所の運営を行った宇和島市吉田公民館の加地優介主事を招いて、実際の避難所運営について質</p>	

	<p>疑応答を行った。参加人数 37 名（うち他校 17 名）。</p> <p>☆ 9 月 1 0 日（火）～1 1 日（水）津波サミット参加 北海道で行われた津波サミットに参加し、本校での防災への取り組みについて発表、意見交換等を行った。参加人数 2 名。</p> <p>☆ 9 月 1 5 日（日）防祭 -BOUSAI- 参加 宇和島市で行われた防災に関するイベント（宇和島青年会議所主催）に参加し、本校で取り組んでいる防災に関する取り組みや津波サミットの参加報告等を行った。参加人数 2 名。</p> <p>☆ 1 0 月 1 2 日（土）～1 3 日（日）宇和島防災キャンプ参加 宇和島市立三間中学校で行われた小中学生対象防災キャンプに参加した。避難所運営ゲーム HUG に参加、避難所の開設補助、炊き出しの補助、夜間避難訓練の補助、防災クイズブースの設営および実施、各ブースにて防災に関する体験学習、救急救命講習参加などを行った。参加人数 35 名（うち他校 13 名）。小中学生は 27 名。</p> <p>☆ 1 1 月 7 日（木）地震津波避難訓練事前協議会参加 市内 6 校 1 園で実施された地震津波避難訓練事前協議会にて本校での取り組みなどについて発表し、意見交換を行った。参加人数 5 名。</p> <p>☆ 1 1 月 1 8 日（月）6 校 1 園合同避難訓練 市内 6 校 1 園で実施された合同避難訓練に参加した。避難時には GPS ロガーを用いて移動の記録をとるなど、データ採取も行った。</p> <p>☆ 1 月 2 5 日（土）防災士養成講座参加 10 月の防災キャンプに参加した小中学生の防災士資格取得に向けた学習会に補助員として参加する予定。参加人数 10 名。</p>
得られた成果	<p>得られた最も大きな成果は学校と地域との繋がりである。近隣の小中学校、PTA の方々、市役所や行政の方々、NPO 団体など多くの方の協力を得て活動ができた。高校生の活動を地域の方々に見ていただけたこと、地域の方々から学ぶことができたこと、本校の取り組みを高く評価していただいたことで、地域との繋がりがより強いものとなった。今後の本校における教育活動により影響をもたらすものと考えている。</p>

どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	<p>まず1点は防災教育に対する考え方を一致させる難しさである。「地震の時はこれ」「避難所生活ではこのように」といった『技術的なことを最優先して指導しなくては意味がない』と考える指導者もいれば、『「防災」を用いた道德教育を行いたい』と考える指導者もあり、それらをうまく擦り合わせないと、指導が大変難しくなるという感想を持った。私の個人的な意見であるが、「避難訓練面倒だ」「防災教育難しそう」といったマイナスのイメージを払拭するためにも、まず防災教育を魅力あるものとしなくてはならないと考えている。カリキュラム開発にも力を入れなくてはならないと考えている。</p> <p>もう1点は、他校との日程調整の難しさである。「他校を巻き込んで実践を行ってください」との指導で進めた本年度のチャレンジプランであるが、他校との日程調整が最も改善の必要のある項目となった。部活動の大会や模擬試験、考査、学校行事など様々な制約がかかり、合同での学習会などは困難を極めたという印象である。今年度は、それぞれの学校で「公欠の処理」をして頂いて活動に参加してもらい、大変心苦しい思いであった。それぞれの学校で防災に関する活動に取り組んでいる生徒が、生徒会であったり、家庭クラブであったり有志であったりと、それぞれ様々であることも、日程調整を難しくさせた要因であった。</p>	

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～3回8高校合同学習会 宇和島市教育委員会、宇和島市役所危機管理課、NPO 法人うわじまグランマ、愛媛県立野村高等学校、愛媛県立吉田高等学校、愛媛県立三間高等学校、愛媛県立北宇和高等学校、愛媛県立宇和島水産高等学校、愛媛県立宇和島南中等教育学校、愛媛県立津島高等学校 ・津波サミット参加 愛媛県教育委員会 ・防祭 —BOUSAI— 参加 愛媛商工会議所青年部 ・宇和島防災キャンプ 宇和島市教育委員会、宇和島市役所危機管理課、宇和島市 PTA 連合、自衛隊愛媛地方協力本部、NPO 法人日本防災士会愛媛県支部南予地区ブロック、宇和島市消防団、愛媛県薬剤師会宇和島支部、愛媛 ME の会、NPO 法人うわじまグランマ、(株)スカイジョイント、愛媛大学、愛媛県立野村高等学校、愛媛県立吉田高等学校、愛媛県立三間高等学校、愛媛県立北宇和高等学校、愛媛県立宇和島水産高等学校、愛媛県立宇和島南中等教育学校、愛媛県立津島高等学校 ・6校1園合同避難訓練および連絡協議会 宇和島市教育委員会、宇和島市役所危機管理課、愛媛県立宇和島南中等教育学校、宇和島市立城南中学校、宇和島市立城東中学校、宇和島市立鶴島小学校、宇和島市立明倫小学校、宇和島市立明倫幼稚園
関係者の説明	<p>愛媛県教育委員会（説明省略）</p> <p>宇和島市教育委員会（説明省略）</p> <p>宇和島市役所危機管理課（説明省略）</p> <p>愛媛商工会議所青年部</p> <p>毎年地域の教育をテーマとしたイベントを企画、実施しており、2019年度は防災をテーマとしたイベントを実施した。</p>

	<p>宇和島市 PTA 連合（説明省略）</p> <p>自衛隊愛媛地方協力本部（説明省略）</p> <p>NPO 法人日本防災士会愛媛県支部南予地区ブロック（説明省略）</p> <p>宇和島市消防団（説明省略）</p> <p>愛媛県薬剤師会宇和島支部</p> <p>地域の防災に関する事業にも積極的に関わっている。宇和島東高校元 PTA 会長が宇和島支部の支部長を務めていることもあり、様々なところでお世話になっている。</p> <p>愛媛 ME（メンテナンスエキスパート）の会</p> <p>土木工事の危機のメンテナンスについて研究しているグループ。</p> <p>NPO 法人うわじまグランマ</p> <p>本校の保護者、PTA 関係者で作っている団体。西日本豪雨災害時に炊き出しを行ったりしたところから結成され、防災学習をはじめとして子ども食堂の実施、食品ロスの学習会など、その活動実績は多岐にわたる。</p> <p>（株）スカイジョイント</p> <p>ドローン撮影を行っている会社。宇和島にある。西日本豪雨災害でも空撮で活躍した。赤外線カメラ搭載のドローン等を保有。避難訓練の際にも空撮で混雑状況のデータ採取。</p> <p>愛媛大学（説明省略）</p> <p>愛媛県立野村高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立吉田高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立三間高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立北宇和高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立宇和島水産高等学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立宇和島南中等教育学校（説明省略）</p> <p>愛媛県立津島高等学校（説明省略）</p>
--	--

関係者の連絡先	<p>愛媛県教育委員会高校教育課 089-912-2950</p> <p>宇和島市教育委員会 0895-24-1111(代表)</p> <p>宇和島市役所危機管理課 0895-49-7006</p> <p>愛媛商工会議所青年部 0895-25-3232</p> <p>宇和島市 PTA 連合 0895-22-5058</p> <p>自衛隊愛媛地方協力本部 089-941-8383</p> <p>NPO 法人日本防災士会愛媛県支部南予地区ブロック</p> <p style="text-align: center;">http://m.facebook.com/bousaisiehime/</p> <p>宇和島市消防団 0895-24-1111</p> <p>愛媛県薬剤師会宇和島支部 089-941-4165</p> <p>愛媛 ME の会</p> <p>NPO 法人うわじまグランマ 0895-22-0326</p> <p>(株) スカイジョイント 0895-48-0234</p> <p>愛媛大学 089-927-9000</p> <p>愛媛県立野村高等学校 0894-72-0102</p> <p>愛媛県立吉田高等学校 0895-52-0565</p> <p>愛媛県立三間高等学校 0895-58-2031</p> <p>愛媛県立北宇和高等学校 0895-45-1241</p> <p>愛媛県立宇和島水産高等学校 0895-22-6575</p> <p>愛媛県立宇和島南中等教育学校 0895-22-0262</p> <p>愛媛県立津島高等学校 0895-32-2304</p>
---------	---

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	全国民の皆さん
伝えたい内容	愛媛県南予地方の高校生が頑張っています！